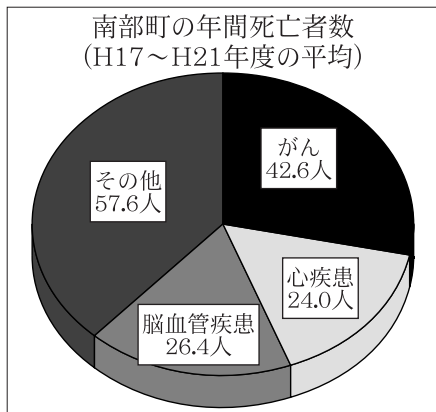


がん検診でわが身を守ろう

南部町では毎年100人弱の方が、がん、心疾患、脳血管疾患で亡くなっています。これらの病気は、健康診断で早期に見ることができません。

医学の進歩に伴い、がんは予防や治療ができる病気となっています。がん検診で早期に見出し、適切な治療を施すことで治る可能性は高くなり、再発の可能性は低くなります。

自分は大丈夫だと思っておられる方も自分のためだけでなく、大切なご家族のためにも年に一度は健診を受け、健康管理をしましょう。



■がん検診は1月まで受けられます

基本検診は9月で終了しましたが、がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん)は1月まで受けることができます。

南部町の死亡原因の3割程度を占めているがんを早期に見出し、早期治療に努めましょう。

■胃がんは日本人に多い

胃がんは早期に見出し、治療が早ければ早いほど治る確率は高くなります。

◆胃がんのリスクが高い方とは？

- ・胃の粘膜に炎症や障害を起こしやすい方。
- ・高塩分食を好む方。
- ・タバコを吸っている方。
- ・血縁に胃がんになった人がいる方。

◆検査方法

胃がん検診の方法として、胃透視(バリウムを飲んだ後のX線撮影検査)と胃カメラ(内視鏡検査)があります。

胃カメラは、その場で組織検査ができるのが大きな利点です。しかし検査に時間と手間がかかり、費用も高価なため、胃炎などで胃がんが心配な方にお勧めします。

※休日健診では胃カメラのみ受け付けています。

■大腸がんが増加傾向

日本での増加傾向が著しいのが大腸がんです。現在では、早期に見えれば完全に治すことが可能となっています。

しかし、発見が遅れると取り除くことが困難な転移が起こり、放射線治療や抗がん剤による治療が必要となります。

◆大腸がんのリスクの高い方とは？

- ・油っこい料理が好きで野菜をあまり食べない方。
- ・生活が不規則な方。

- ・便秘気味や下痢気味になることが多い方。
- ・血縁に大腸がんになった人がいる方。

◆乳がんのリスクの高い方とは？

- ・大腸がん検診は、検便による便潜血検査を行います。この検査で大腸がんが疑われた方には、注腸透視あるいは、内視鏡による詳細な検査を致します。(後日の検査は保険診療です。)
- ・初産年齢が30歳以上の方。
- ・動物性脂肪摂取の多い方。
- ・成人で高身長の方。
- ・血縁に乳がんになった人がいる方。

■日本人女性が最もかかりやすい乳がん

乳がんは早期に見出し、治療を受ければ、再発の可能性は低くなります。

◆検査方法

医師による視触診と、マンモグラフィを行います。

※がん検診は40歳以上の方が対象です。

※乳がん受検は2年に1回です。

休日健診をご利用ください

西伯病院では、休日でなければ健康診断を受けることが出来ない町民の方のために、休日にも健診を行っています。健診を受けて健康づくりに役立てましょう。

なお、休日健診は予約制ですので、ご希望の方はあらかじめ電話にて予約をお願いします。

【今年度の予定】

- 平成24年10月21日(日)
- 平成25年1月20日(日)

※両日も、がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん)のみを行います。

【予約・問い合わせ先】

西伯病院 医事課 ☎ 66-2211